

# 自律を育む夏へ

## ～ 「日常」 で育む自主性と有意義な夏休みを♪～



学校だより

# 文武両道

ぶんぶ  
りようどう

第 4 号



7月に入り、日差しもすっかり夏めいてまいりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。さて、先月は2日間

にわたる中体連夏季大会が実施され、各会場では、勝負の緊迫感の中で全力を尽くす生徒たちの姿、そして最後まで仲間を信じて声を掛け合う姿が見られ、深い感動を覚えしました。朝早くからの心のこもったお弁当の準備や、会場での温かいご声援など、保護者の皆様の多大なるサポートに心より感謝申し上げます。

また、先月開催された体育祭では、①生徒を中心とした運営により、自発的な精神を養う ②集団活動を通して、公正・規律を守る態度を培い、自主性・責任感・協調性を育てる ③異学年交流

を通して、学級間の結束を高め、学校生活を有意義に過ごせるようにする ④行事を成功させる喜びを生徒、保護者、教師で分かち合い、より輝かしい本校の校風の創造と発展に努める…という4つのねらいのもと、生徒たちは体育祭テーマ「Fantastic Future, Go Forward」を自分らしく「あなたらしく」を見る事に具現化し、最高の時間を創り上げてくれました。

これらの中体連や体育祭などの大きな経験を経て、学校では生徒たちに「強さは『日常』でつくられる」ということを継続して伝えていきたいと考えております。

スポーツでも文化面でも、本場に強い人やチームは、土壇場で「自分で状況を判断し、道を見つけ出す力」を持っていきます。しかし、この力は行

事や部活動の時間だけでなく急に身につくものではありません。授業中に自ら問いかけること、掃除や行事に主体的に取り組むことなど、日々の生活で「自分で決め、言動する」習慣があるからこそ、本番のプレッシャーにも動じない強さが生まれると言われております。

そのため、私たち職員も、大人が先回りして指示を出すのではなく、生徒が試行錯誤して結論を導き出す「待つ時間」を大切に、「生徒の『自己決定』を支える環境づくり」に注力してまいります。

さて、子どもたちが楽しみにしている夏休みがいよいよ今月下旬から始まります。学校では夏休みを健康で安全に、そして有意義に過ごせるよう学級指導を進めて参りますが、約40日間の長期休暇は、生徒たちが「自分

で生活をコントロールする」絶好の機会でもあります。ただ漫然と過ごすのではなく、ぜひ計画性と目的を持って過ごせるよう「家庭でも『夏休みに何をしたいか』を具体的に話し合い、生徒自身に計画を立てさせてみてください。

自分で決めた目標を達成することは、大きな自信と自己肯定感に繋がります。ご家庭におかれましても、結果だけでなく子どもたちが「自分で考えて行動したプロセス」をぜひ褒めてあげてください。

また、長期休暇中に特に気をつけたいのが健康面と安全面です。連日猛暑が予想されますので、室内外を問わずこまめな水分補給やエアコンの適切な使用など、熱中症対策へのご協力をお願いします。

規則正しい生活リズムを崩さないよう、早寝早起きやバランスの良い食事への意識も引き続きお願いいたします。

行動範囲が広がる時期



石垣市立 石垣中学校  
校長 宮良 健

でもありません。トラブルや事故を防ぐため、「どこで、誰と、何時に帰るか」のルールや、水辺・交通安全、不審者への対策、緊急時の連絡先について、今一度ご家庭で具体的な確認をお願いいたします。

学校と家庭が手を取り合い、子どもたちが自分の意志で力強く歩み出せるよう、今後とも温かい見守りご協力をお願いいたします。

今年の夏休みが、生徒たちにとって心身ともに大きく成長できる素晴らしい期間となることを心より願っております。

# 感動!みんなで創りあげた体育祭♪



今年度の体育祭が無事に終了しました。会場では、これまで練習してきた成果を全力を尽くす生徒たちの姿、そして最後まで仲間を信じて声を掛け合う姿が見られ、深い感動を覚えました。

生徒たちの安全な登下校への配慮から会場での温かいご声援など、保護者の皆様の多大なるサポートに心より感謝申し上げます。

中体連が終わった後にもお伝えしましたが、今回の体育祭を終え、学校では生徒たちに「強さは『日常』でつくれる」ということを継続して伝えていきたいと考えております。

スポーツ面でも文化面でも、本当に強い人やチームは、本番の土壇場で「自分で状況を判断し、勝利への道筋を見つけ出す力」を持っていきます。

しかし、この力は行事の練習時間だけで急に身につくものではありません。授業中に自ら問いかけること、休み時間に次の準備をすること、掃除や行事に主体的に取り組むこと…そうした「学校生活のすべてが練習である」という意識



を持ち、日々の生活で「自分で決め、行動する」習慣があるからこそ、本番のプレッシャーにも動じない勝負強さが生まれると言われております。

これを受け、職員も「生徒の『自己決定』を支える環境づくり」に注力してまいります。

大人が先回りして指示を出すのではなく、「どうすれば解決できるか」を問いかけ、生徒が試行錯誤して自分たちで結論を導き出す「待つ時間」を大切にします。

学校生活の中に意図的な「余白」を作り、失敗も含めて自分たちで決める経験を積ませることで、本番での判断力や自律的な学習姿勢を養っていきます。

ご家庭におかれましても、結果だけでなく、子どもたちが「自分で考えて行動したプロセス」をぜひ褒めてあげてください。

学校と家庭が手を取り合い、子どもたちが自分の意志で力強く歩み出せるよう、今後とも温かい見守りとご協力をよろしく願っています。

